

山岳・海峡を克服し全国鉄道網形成に貢献した
トンネル建設等の歩みを物語る近代化産業遺産群



8-f 旧逢坂山隧道（東口）（滋賀県大津市）



8-g 関門鉄道トンネル
（山口県下関市、福岡県北九州市門司区）



8-d 旧国鉄中央線の隧道群（愛知県春日井市）



8-e 旧柳ヶ瀬隧道
（福井県敦賀市、滋賀県伊香郡余呉町）



8-c 笹子隧道（山梨県大月市、甲州市）



8-b 碓氷峠の隧道・橋梁群（群馬県安中市）



8-a 奥羽本線板谷峠のスイッチバック遺構
（山形県米沢市）

日本人技術者の挑戦

急峻な山岳と多くの島々で構成される我が国において、全国鉄道網を建設していく上で、山岳地帯や海峡を克服するためのトンネル等の建設が不可欠であった。我が国初の鉄道山岳トンネルは、1880年に竣工した「逢坂山隧道」であり、これは日本人技術者のみで達成されたという意味でも画期的であった。この成功で自信をつけた技術者たちは、次々と長大鉄道トンネルの建設や峠越えの急勾配路線の建設に挑み、ついには世界初の鉄道海底トンネルである「関門トンネル」を実現させるなど、鉄道交通網の輸送量とスピードの向上に大きく貢献した。

